

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和2年度第2回高松市生涯学習センター等運営協議会
開 催 日 時	令和2年11月19日（木）午前10時00分～午前11時05分
開 催 場 所	高松市生涯学習センター2階 大研修室
議 題	(1) 令和2年度高松市生涯学習センター主催事業（上半期）について (2) 令和3年度高松市生涯学習センター主催事業（案）について
公 開 の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	7人
	田中会長、藤井副会長、上原委員、後藤委員、有賀委員、宇都宮委員、長尾委員
傍 聴 者	0人（定員5人）
担当課及び連絡先	生涯学習課 生涯学習センター 087-811-6222

会議の経過及び結果

《次第》

- 1 開会
- 2 教育局長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 令和2年度高松市生涯学習センター主催事業（上半期分）について
 - (2) 令和3年度高松市生涯学習センター主催事業（案）について

※ 事務局より配布資料に基づき説明後、協議・意見交換
- 5 閉会

《協議の経過及び結果》

事務局から、議事（1）及び（2）について、説明を行った。

（委員）

IT関係や、夏休みの子ども講座、そして人生100年時代に向けての健康問題や、食品ロス、終活など非常に関心の高い講座を幅広く実施していると感じる。その中で、市民参画促進委託事業のスタッフ養成講座について、災害時におけるコミュニティセンターの機能と役割は大変重要なことだと思うが、今年度は、定員70名のところ45名しか参加していなかった。せっかくの講座なので、より多くの人に参加してほしいと思う。何か、対策はあるか。

（事務局）

市民参画推進事業におけるスタッフ養成講座については、対象がコミュニティセンターの

職員である。そのため、行事と日程が重なるとなかなか参加率が伸びない。しかし、3年ほど前から、コミュニティセンターの職員以外にも推薦いただき講座に参加していただくこととしている。今後も参加者が増加するよう対応していきたい。

(委員)

パンフレットの置き場所について、せっかくいいパンフレットがあっても、目にする機会が少なく残念である。2階まで上がってやっとコミセンの広報やその他パンフレットをもらえるため、普段前を通るだけでは見つけられない。また、生涯学習センターのロゴとして、石ノ森章太郎さん考案のキャラクター（マナビー）も起用しているので、しっかりと広報してほしい。また、まなびCANの看板のわかりにくく、活用されていないように感じるが生涯学習センターはどう考えているか。

(事務局)

生涯学習センター発行のまなびかんづめや、講座のチラシについては、商店街側の入り口前に置いているが、各コミュニティセンターのチラシについては、部数も少なく外に置くのは難しい状況である。また、まなびかんづめなどについては、片原町駅や、三越にも置いているため、また見つけてほしい。まなびCANの看板については、生涯学習センターがマンションの一部であるということから、目立つような色合いの看板にすることは難しく、ご理解いただきたい。

(委員)

令和3年度の取り組みの中で、新型コロナウイルス関係の講座を入れてみてはどうか。対策例の紹介や、コロナに直面した企業の様子、そしてこれからどう向き合っていくかなども聞いてみたいと思う。

(事務局)

非常に興味深い内容なので、ぜひ開催を検討したい。

(委員)

オリンピック関係の講座をすると聞いたが、具体的に、どんなアスリートから話を聞くかは決まっているのか。また、オンライン講座の内容や他市の事例を教えてほしい。

(事務局)

オリンピック講座については、企業で活躍しているパラリンピックの選手にお願いしたいと考えている。オンライン講座は、他市もまだ取り入れておらず、事例も少ないが、オンライン講座を開催することで、多忙な講師でも空き時間を活用して講座をお願いできることや、拘束時間が短く、旅費・宿泊費が不要であるため安く講座を行えること、また、いくつかのコミュニティセンターや自治体と同時開催をすればさらに安く講座を行えるなど、たくさんメリットがある。しかし、デメリットもある。例えば、感動が薄かったり、理解度も低く、満足度も低くなったりする可能性もあげられる。オンライン講座の性格を理解しながら導入について検討してまいりたい。